

Q：日本にはアメリカの半数ほどの原発があるって本当ですか？

A：本当です。

世界第 1 位がアメリカで 104 基、2 位はフランスで 59 基、日本は 3 位で 54 基です（IAEA（国際原子力機関）「NUCLEAR TECHNOLOGY REVIEW 2010」より）。

日本という狭い国土では何かあっても逃げ場がありません。世界中でこれだけ密集して原発が立地されているのは日本だけです。

Q：ではなぜ「原発」を採用しているのですか？

A：戦前、日本全国には 600 社以上の発電会社があり、自治体の「電気局」が地域に電気を供給していました。

しかし戦時中、国策で 1 社に統一され、戦後 9 社に分割（その後沖縄復帰で 10 社に）されました。国策で統一された事を契機に、電力会社は民間企業の経営でありながら、国策で決定され守られて運用されるようになりました。

1954 年原案になかった最初の原子炉予算が、修正案というかたちで突然衆議院に提出されました。当時の金額で約 3 億円、そしてこの修正案提出の中心人物が、中曽根康弘氏でした。審議は 3 日間で衆議院を通過、その時、初代の原子力委員会委員長に就任したのが、日本テレビ放送網社長・正力松太郎氏でした。予算案は翌月可決、原発の導入はこうしてほとんど議論もないまま国会で決定採用されました。